

令和6年度における林業振興の推進に関する施策の実施状況

令和6年度における林業振興の推進に関する施策の実施状況について、「林業振興の推進に関する基本指針」（令和4年10月策定）に掲げる7つの取組方針ごとに実施した内容を取りまとめました。

【取組方針1】 森林所有者の収入を増加させるため、市産材の利用を推進する。	
●市産材の建築材への利用促進	
木材利用促進事業費補助金	決算額 1,825,000円
市産材の需要創出のため、住宅等の新築、増改築工事に市産材を利用した市内施工業者に対し補助した。 ・補助金交付件数 7件	
●市産材のサプライチェーンに携わる事業者の情報共有と連携促進	
木材カスケード利用推進事業費	決算額 32,880円
木材のカスケード利用や市産木材の利用を促進するため、一関市木材カスケード利用協働協議会を開催した。	

【取組方針2】 森林整備に係る費用低減と森林の適正な保全を図る。

●所有者、境界、森林資源等の情報の整備と運用

森林経営管理事業費(うち林地台帳更新整備業務委託) 決算額 2,200,000円
 林地台帳情報(森林の地番・所有者・地図等)の更新を委託した。

森林経営管理事業費(うち森林資源航空レーザ計測及び解析業務委託) 決算額 48,015,000円
 森林所有者などが効率的な経営管理を進められるよう、航空機による森林のレーザ計測を実施し、森林資源情報を把握した。

●造林や下刈りなど保育に係る費用の低減

森林総合整備事業費補助金 決算額 6,396,451円
 私有林における良質材の生産と公益的機能の高い森林の育成を図るため、森林組合や生産森林組合等が行う私有林の整備に要する経費に対し補助した。
 ・事業実施 5団体
 (下刈り72.16ha, 枝打ち8.78ha, 人工造林15.03ha, 除間伐10.83ha, 樹種転換3.11ha)

●間伐における選木、集造材、搬出技術の向上

自伐型林業推進事業費 決算額 12,275,000円
 作業道を開設し、間伐した木を搬出することで定期的な収入を得る自伐型林業の施業技術を学ぶ研修を開催した。

●作業道敷設に係る技術の向上と路網の整備

自伐型林業推進事業費(再掲) 決算額 12,275,000円

林道維持補修費 決算額 25,733,584円
 市が管理する林道について、道路側溝や路面の維持補修及び草刈り等を実施し、林業振興や森林保全等の機能維持を図った。

林道緊急自然災害防止対策事業費 決算額 4,481,400円
 林道の災害を予防し、また、災害の拡大を防止するため、強靱で災害に強い林道の改良を図った。
 ・林道川井住田線測量設計業務委託

林道橋梁長寿命化事業費 決算額 30,978,200円
 林道施設長寿命化修繕計画に基づき、林道橋梁の長寿命化を図った。
 ・林道コゴミ立山線(コゴミ立山第2橋)(一関)橋梁補修工事
 ・林道橋梁点検業務委託

●林業機械の導入と作業体系の確立

林業経営体育成対策事業費補助金 決算額 5,433,000円
 効率的かつ安定的な林業経営を継続的に行うために必要な高性能林業機械の導入に要する経費に対し補助した。

●施業の集約化

森林経営管理事業費(うち森林所有者経営管理意識調査業務委託) 決算額 6,600,000円
 森林所有者に対し、所有する森林全体に係る管理に関する意識調査を委託により実施した。

意向調査の結果に基づく森林経営計画の策定・管理

モデル的に実施した所有森林に関する意向調査の調査結果に基づき、希望する森林所有者の私有林を対象に、森林組合による施業を集約化するための森林経営計画の策定と間伐作業を実施した。
 ・実施面積 32.55ha

【取組方針3】木質資源の価値向上とカーボンニュートラルの実現のため、木質バイオマス利用を進める。

●薪ストーブなど木質資源の利用推進

薪ストーブ設置費補助金	決算額	1,348,000円
--------------------	------------	-------------------

市民による地域に根差した木質バイオマスの利用促進を図るため、薪ストーブの購入設置費用に対し補助した。

- ・補助金交付件数 14件

●チップボイラーの公共、民間施設における導入促進

チップボイラーの運用に係る勉強会

小学校に導入しているチップボイラーについて、専門業者を交え、運転管理者とチップ供給業者が勉強会と意見交換を行った。

●木質バイオマスの供給拡大

木質資源市民集材支援事業費	決算額	596,480円
----------------------	------------	-----------------

森林内に残置された未利用木材を燃料として有効活用するため、市民団体による未利用木材の集材活動に対し報償金を交付した。

- ・活動団体 2団体(集材量 149.12t)

【取組方針4】森林の恵みを生かした特用林産の振興を図る。

●原木しいたけ放射線対策の推進

きのこ原木等処理事業費	決算額	1,277,035円
<p>●ほだ場の環境整備 放射性物質に汚染された落葉層の埋設保管や、放射性物質のほだ木への跳ね返りを防止するために資材の敷設を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落葉層埋設量 90m³ ・資材敷設面積 356m² 		
農林業系廃棄物処理加速化事業費	決算額	14,321,736円
<p>放射性物質に汚染され使用できなくなり一時保管されているほだ木の搬出及び破砕処理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほだ木処理量 180.83トン 		

●原木しいたけの産地再生に向けた生産及び消費拡大

一関市乾しいたけ品評会実行委員会負担金	決算額	209,000円
<p>乾しいたけ生産者の生産意欲の向上と生産技術の研鑽を図るため、一関市乾しいたけ品評会実行委員会に負担金を支出し、東磐木材流通センターで審査会、JAファーマーズいわて平泉で展示・販売会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品点数 41点 ・出品者数 29人 		
大東椎茸産業振興対策事業補助金	決算額	62,000円
<p>大東椎茸産業推進協議会が行う、原木しいたけ産地の再興に向けた活動経費に対し補助した。</p>		
しいたけ生産振興対策事業費補助金	決算額	4,252,000円
<ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質による被害を受けたしいたけ生産者の再生産支援のため、しいたけ原木及び種菌の購入経費に対し補助した。 種菌 42,005本分、原木 3,105本 ・新規参入者及び震災前より規模拡大する生産者の増産分について、しいたけ原木の購入価格と原発事故前の価格差に対し補助した。 原木 3,610本 ・新規参入者の支援のため、原木しいたけの種菌購入経費に対し補助した。 種菌 2,610本分 		
特用林産施設等体制整備事業費補助金	決算額	6,050,000円
<p>しいたけ産地の再興を図るため、原木しいたけの栽培を行う生産組織に対し、生産施設の修繕等に要する経費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付件数 1件 		
特用林産施設等体制整備事業費補助金(繰越)	決算額	2,901,000円
<p>しいたけ産地の再興を図るため、原木しいたけの栽培を行う生産組織に、原木の導入に要する経費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付件数 2件 		

●山菜の出荷制限解除と安全性を確保した販売

山菜等放射性物質測定事業費	決算額	279,874円
<p>タラノメの販売数量を確保するため、少量での検査が可能な民間検査機関へ検査を委託した。</p>		

【取組方針5】持続的な森林経営を確立するため、森林整備の担い手の確保と育成を進める。

●林業従事者の確保支援

林業新規就業者家賃補助金	決算額	90,000円
林業新規就業者の確保及び定着を図るため、市内の林業経営体に新規就業する転入者や、いわて林業アカデミーを受講する者に対し家賃を補助した。		
・ 補助金交付件数 1件		

森林・林業体験促進事業費(うち高校生のための林業体験)	決算額	37,828円
林業への就業につながるよう、林業に関心を持つ機会として市内の高校生を対象とした林業体験教室を開催し、高校生5人が参加した。		

●自伐型林業者の育成

自伐型林業推進事業費 ※再掲	決算額	12,275,000円
市民や地域おこし協力隊を対象とし、地域の身近な森林で自ら間伐を行う自伐型林業者を育成する研修を実施した。		
・ 自伐型林業体験研修 10日間 14人参加		
・ 自伐型林業施業実践研修 31日間 9人参加		

自伐型林業移住者支援事業費	決算額	20,307,713円
地域おこし協力隊制度を活用し、自伐型林業に従事する移住者が林業の担い手となり、中山間地域の集落に定着できるよう支援を行った。		
・ 地域おこし協力隊活動業務委託料 (5人)		

森林・山村多面的機能発揮対策交付金	決算額	279,052円
地域住民等で構成する活動組織が行う里山林の保全、森林資源の利活用などを支援するため、活動に要した経費2,232,104円のうち約1/8を助成組織であるいわて里山再生地域協議会に対し交付金を交付した。		

【取組方針6】 森林や林業の役割に理解を深めるため、森林、林業、木材に触れる体験活動を進める。

●市民が参加する森林・林業体験、木育など機会づくりの支援

森林・林業体験促進事業費(うち森林・林業体験業務委託料)	決算額	165,000円
------------------------------	-----	----------

森林、林業、木材の持つ価値を実感できる体験事業を委託により実施し、延べ56人が参加した。

一関地方育樹祭における体験活動

育樹の大切さや木に触れる機会を創出するため、令和6年度一関地方育樹祭を大東町の市有林を会場に開催し、参加した小学生10人が、樹木医を講師とした森林観察会や木工工作(バードコール作り・木のネックレス作り)を体験した。

農業祭における林業コーナーの開設

親子で木材に触れる機会として、一関地方産業祭の農業祭において木工工作などを行う林業コーナーを開設した。

●民間団体、民間事業者による体験事業の促進

森林・林業体験促進事業費(うち森林・林業体験業務委託料) ※再掲	決算額	165,000円
----------------------------------	-----	----------

森林、林業、木材の持つ価値を実感できる体験事業を委託により実施し、延べ56人が参加した。

【取組方針7】 地球温暖化防止へ寄与する森林の価値を高める取組を推進する。

●森林整備を通じたオフセット・クレジットの創出、販売

市有林J-クレジット創出事業費	決算額	1,320,078円
-----------------	-----	------------

森林整備や担い手の確保などの林業振興に活用するため、J-クレジットを取得し、販売した。

- ・取得量 3,687t-CO2
- ・販売量 446t-CO2

公有林整備事業費	決算額	55,809,949円
----------	-----	-------------

- ・市有林の適正な保育管理を図るため、造林や下刈り、除伐、枝打ち、間伐等を実施した。 72.64ha
- ・分収林の毎木調査を実施した。 15.68ha
- ・市有林整備に係るその他の取り組み(作業道補修等)を実施した。

公有林整備事業費(繰越)	決算額	6,002,444円
--------------	-----	------------

市有林の適正な保安管理を図るため、間伐等を実施した。

- ・間伐材生産 4.58ha
- ・森林作業道作設 940m

公有林等管理事業費	決算額	8,649,300円
-----------	-----	------------

市有林の効率的、効果的な管理を行うため、市有林の保全巡視及び生育状況調査等を実施した。

●二酸化炭素の吸収と炭素の貯蔵を高める緑化、育樹活動の推進

岩手県緑化推進委員会一関支部の活動(緑化木の配布、植樹支援)

一関市に事務局を置く岩手県緑化推進委員会一関支部の活動として、市内の自治会や企業へ緑化木を配布したほか(自治会:283本、企業26本)、地域緑化のための植樹に要する経費を助成した。

●都市の企業や都市自治体との連携

市有林J-クレジットに関する連携企業の公募

市有林J-クレジットの購入に加え、連携事業を行う利活用連携パートナー企業を公募し、ENEOS株式会社を連携候補者として選定した。

林業振興の推進に関する施策の決算額合計

267,929,004円